

CD2枚付き

読み上げ音声入り

別冊語彙リスト

(英語・中国語・韓国語・ベトナム語対応)

初・中級学習者向け日本語教材

日本文化を讀む

(公財)京都日本語教育センター

西原純子・吉田道子・桑島卓男

本書に収められている作品の筆者

清少納言 本川達雄 田辺聖子 さだまさし

大江健三郎

阪田寛夫 川上裕之 向田邦子 長田弘

村上春樹

辰濃和男 草野心平 芥川龍之介

江國香織

まど・みちお 夏目房之介

穂村弘

工藤直子 夏目漱石

俵万智

桑原茂夫

著名な小説、エッセイ、評論を通し、
日本文化・事情や上質な日本語を学ぶ



初・中級学習者向け日本語教材

日本文化を讀む

刊行にあたって

初級レベルの日本語学習者に対して、どんな「読み教材」がふさわしいかは、私の長年の課題であった。

一般に入門・初級の日本語の学習は口頭でなされ、そこで習った文型や表現を記述することで、小さな「読み」の第一歩が始まる。

おおむね日本語の「話し言葉」と「書き言葉」は異なるから、口頭での表現とは別に、書き言葉としての正しい構文が学ばれることになる。

学習者はひらがな・カタカナ・漢字の習得に加え、「読み」「書き」のスキルを新たに獲得するのに相当の努力が求められる。「読み」の教材はそうした新しいチャレンジに役に立ち、なおかつ学習者の興味をそそるものが望ましい。

初級の「読み教材」は“読めるようになること”を重視することで、ややもすれば“内容の面白さ”や“文章の質”にまでこだわることが難しかったように思う。しかし成人学習者に対して、初級レベルであっても内容の面白さや自然な上質な文章に触れることは必要であろう。

初級テキストとしての“内容の面白さ”はトピックだけではなく、むしろ日本語の文法に見る独特の発想の表出にあると考える。日本語学習では一般に文法を「文型」で教える。そこで学習者は「文型」を学ぶが、日本語の特有の「文法」をどれだけ学んでいるだろうか。文法の底にある、ものの考え方、文化を知る「読み教材」があるといい。

本編においては、習得した日本語レベルに即して、学習者の知的好奇心をそそるだけのトピックを選び、日本語の文法をその発想から掘り起こすことに挑戦することで、初級者、および中級者のための『日本文化を読む』のコンセプトとした。

当センターでは既に、2008年に上級者のための『日本文化を読む』を、また2012年に中上級者のための『日本文化を読む』を出版しており、今回は初・中級者のための『日本文化を読む』の発刊となる。

日本文化を理解してもらう読み教材としてあわせて読んでいただければ幸いである。

なお、本書の編纂には、公益財団法人京都日本語教育センターの吉田道子、桑島卓男、西原純子が当たった。

最後に、本書の発刊にあたってご尽力をいただいた株式会社アルクの大塚武司氏に厚くお礼を申し上げます。

2013年10月

公益財団法人 京都日本語教育センター
京都日本語学校
校長 西原純子

ほんしょ　つか　かた 本書の使い方

1. 本書では、日本語の文法の特徴的構造に着目して章立てした。章および本文の順番は必ずしも難易度によるものではないので、興味のある章や読めそうな内容を選んで、読み進めてほしい。
2. 本書では、章ごとに NOTE ページを設けた。NOTE ページには、文法の説明と、短い例文を付けた。例文を参考にして、自由に作文してみしてほしい。
3. 「10 地下鉄銀座線における大猿の呪い」および「24 泣くこと、笑うこと」については、本文後ろに、語句の説明を付記した。
4. 本文を理解する上での注意点に＊を付記し、設問を付けた。それを手掛かりに読み進めてほしい。
5. 本文を理解したかどうかの確認のため、「まとめ」として設問を付けた。読後に考える手掛かりとしてほしい。なお、4、5とも解答例は本冊後ろに記載した。
6. 理解を深め、発展させるために、出典および著者紹介を各課の最後に付けた。

7. 本文の上にある①はディスク番号とトラック番号であり、この印が付いているところは、本文を朗読した音声を収録してある。

8. 「1 春はあけぼの」、「12 サラダ記念日」、「20 第14条〔法の下での平等〕」は、オプションとして掲載している。設問などはないが、学校などでは日本語教師の助けを借りながら、読み進めてほしい。これら以外は独習者にも使えるようにした。

9. 本書本文の文字表記については、学習者の便宜を最優先し、次のように配慮した。

- ・基本的に旧日本語能力試験3級以上の語には振り仮名を付けた。
- ・振り仮名は各見開きページの初出に限った。

10. 別冊語彙リストにある、英語・中国語・韓国語・ベトナム語の訳語は、その語の基本的な意によった。

11. 本シリーズの「上級編」「中上級編」では縦書きを採用しているが、本書では対象読者のレベルを考慮し、横書きを中心にしている。

しかし、段階的に縦書きにも慣れる必要があるため、「3 おせい&カモカの昭和愛惜」「12 サラダ記念日」「20 第14条〔法の下での平等〕」「22 吾輩は猫である」の4編については縦書きを採用した。

Using this textbook

1. The chapters in this textbook are designed to demonstrate characteristics of Japanese grammatical structures; however, they are not arranged in order of difficulty. Please choose a chapter that interests you and jump in.
2. The end of each chapter in this textbook includes a NOTE page. The NOTE page provides grammatical explanations and short examples. Please try your hand at making sentences using these examples as a reference.
3. The terminology in 「10 地下鉄銀座線における大猿の呪い」 and 「24 泣くこと、笑うこと」 is explained at the end of these two essays.
4. Japanese-style asterisks (*) indicate questions listed next to the text. These questions are designed to give readers clues to help them better understand content. Sample answers are available at the back of the textbook.
5. Each unit includes a recap 「まとめ」 with a question to confirm your understanding of the content. Please use these as helpful clues to consider before and after reading. Additional recap questions are available at the back of the textbook.
6. In order to deepen and expand your understanding of the text, source and author information are listed at the end of each unit.

7. The numbered CD icons ① at the beginning of each essay indicate the CD track on which the essay is recorded.

8. 「1 春はあけぼの」, 「12 サラダ記念日」 and 「20 第14条〔法の下の平等〕」 are included as optional readings, and no questions have been provided. Please read through with help from your Japanese language teacher. Except for these three optional readings, the units in this text are designed for easy use by independent learners.

9. Japanese characters are used in accordance with the rules described below with a priority on learner convenience.

- *Hiragana* superscript is provided for kanji that are level 3 or higher in the Japanese-Language Proficiency Test (JLPT).
- *Hiragana* superscript is provided only at the first appearance of each *kanji* described above.

10. The vocabulary translations provided separately in English, Chinese, Korean, and Vietnamese show the standard meanings.

11. While both the intermediate and advanced editions in this series include vertical text, this edition places a greater emphasis on horizontal text in view of the level of our readers. Because of its importance, however, 「3 おせい&カモカの昭和愛惜」, 「12 サラダ記念日」, 「20 第14条〔法の下の平等〕」, and 「22 吾輩は猫である」 are printed vertically to help students become gradually familiar with this style.

本书使用说明

1. 本书着眼于日语语法的特征性结构，以此分章。各章及正文的顺序并非以难易度排列，因此读者可选择自己有兴趣的章节或能读懂的内容进行学习。
2. 本书各章均附有 NOTE 页，其中设有语法说明及短例句。请参照例句进行自由造句。
3. 在《10 地下鉄銀座線における大猿の呪い》及《24 泣くこと、笑うこと》的正文后附有语句说明。
4. 理解正文时需要注意之处标注有 * 记号，并设有提问。请以此为线索阅读正文。
5. 为了方便读者确认是否正确地理解了正文，本书中以“まとめ”的形式设置了提问。请在阅读完正文后，以此为思考的线索。另外，在本册最后收录有 4、5 中提问的解答例。
6. 为了加深理解，拓展知识，在每课的最后附有文章的出处及作者介绍。

7. 正文上方  是光盘编号和曲目号码，标有该记号的部分收录有正文的朗读录音。

8. 《1 春はあけぼの》、《12 サラダ記念日》、《20 第 14 条〔法の下での平等〕》是作为选学内容编入的，因此没有设问。请在日语教师的帮助下，在学校等场合学习。其他各课均适于自学。

9. 本书以读者学习时的方便为最优先事项，对于正文的文字标记作了如下安排。

- 对于原日本語能力测试 3 级以上的词汇原则上均注有读音假名。
- 仅对在每一双联页中首次出现的词汇标注读音假名。

10. 别册词汇表中的英语、汉语、韩语、越南语的译文是该词汇的基本语义。

11. 在本系列丛书的《上级篇》和《中上级篇》中采用了竖排体，但考虑到使用对象的日语能力有限，本书以横排体为主。然而，考虑到读者有必要逐渐适应竖排体，故对《3 おせい&カモカの昭和愛惜》、《12 サラダ記念日》、《20 第 14 条〔法の下での平等〕》、《22 吾輩は猫である》这 4 篇的正文采用了竖排体。